



北海道：上川地区・たいせつ農協青年部



緑・黄・紫・赤の色を持つ4種類の稲を使って描いた「田んぼアート」農村地域の魅力を発信し、多くの消費者が農村地域に足を運び生産者と消費者の交流の拠点となっている。



北海道：十勝地区・芽室町農協青年部上伏古支部



「次世代育成中」という文字のように我々の次の担い手世代を育成することで、今後の農業も「安泰」という意味を込めトラクタ運転の体験試乗（乗るだけ）の絵を載せました。



北海道：十勝地区・士幌町農協青年部中士幌支部



「食を守る」「消費者を守る」事が農家の役割であり、国内外の厳しい農業情勢にも振り回されず、信念を持って行動し、その役割を果たすというメッセージを込めている。



青森県:JA十和田おいらせ 青年部 十和田支部 四和分会



東北六県をモチーフとしたキャラクター

青森県:JA津軽みらい 青年部 田舎館支部



『豊かな自然を未来の子供に託して』田舎館村の四季折々の風景・風物・風土、豊かな自然と人々の暮らし、未来の子どもたちへ伝え残してゆきたい景観・光景・想いなどをキャンバスに託し、「豊かな自然を子どもたちに」との願いをこめて部員一同、手づくり看板を制作いたしました。



岩手県:JAいわて南青年部永井支部



作物が育つには、太陽と水と土が必要です。
そして、農作物を作る人がいて、運ぶ人がいて、食べる人がいる。それぞれに感謝の気持ちを忘れずにいたいという思いを絵にしました。

岩手県:JA江刺青年部 稲瀬支部



私達が日々、丹精込めて作っているお米や野菜達を、安心して「おいしい」と言って食べてもらえるよう、作り手みんなを応援します。

岩手県：JA江刺青年部 田原支部



「次世代の子供達に、作る楽しみや収穫した作物を食べる喜びを伝えたい。」
という気持ちを込めて、製作しました。



宮城県:JAみどりの青年部南郷支部



東日本大震災で絶望的な状況から、自分たち青年部が子供たちの食の安全を守り安心して暮らせる将来を目指そう



宮城県：みやぎ仙南農協柴田地区青年部



環太平洋経済連携協定の加盟により、将来の食料の安定供給・安心安全が守れるのか？未来の子供たちの食料を真剣に考えて欲しい。

宮城県：みやぎ仙南農協川崎地区青年部



3.11の大震災によって被災した農家は、来年、再来年に向けて頑張っていくしか復興に導く道はないと信じて、毎日を大切に、ご飯を食べて生き抜いて行こう

秋田県：かつの農業協同組合青年部 八幡平支部



東日本大震災で被災した地域と、日本の農業が力強く成長していき、未来へ向かって駆け上がる姿を、太陽に向かい伸びていく向日葵で表現

秋田県：秋田おばこ農業協同組合青年部 西仙北支部



もう一度「食」というものを見つめ直し、環境の観点からも考え直し、若者の力で農業を盛り上げて行こうという気持ちを込めて作成した作品です。

山形県: さがえ西村山農協青年部河北支部



米どころ、そばどころで祭り好きの河北町。近年栽培を拡大しているうるち米「つや姫」や「冷たい肉そば」で河北町から日本の食を賑わしたいとの思いを「谷地どんが祭り」の花形である「奴（やっこ）」にのせて描きました。



山形県：山形農協青年部 出羽支部



有機栽培の野菜は、身体を元気にし、勇気を与えてくれる。被災者に勇気を。
(有機野菜を届けたい)



山形県:JA庄内たがわ 青年部 櫛引支部



黄金色に染まる山形県、庄内平野から産まれる、んめ（おいしい）お米を多くの人達にたくさん食べてもらいたい。そんな思いを一枚にまとめました。
心を込めて「めしあがれ」



福島県: あいづ青年連盟



あいづ農青連として、逆境に負けない農業を會津の土地で貫き、“この會津の土地から福島県農業の復興を引っぱっていくんだ”という想いを対外的に宣言した。



福島県：JAいわき市青年連盟高久支部



地震・津波・放射能・風評被害の中、盟友ひとりひとりの力を結集し「農業に未来を」と明るい農業をめざし、復旧・復興のため農青連活動に取り組んでいきます。

福島県：JAそうま農青連鹿島支部



看板では、生産された農作物を通して繋がる地域社会と農業をイメージして描きました。盟友と盟友が生産する作物と地域住民、そしてそれをつなぐ虹を描き表現しました。

群馬県：JA多野藤岡青年部



群馬の安心・安全な野菜を食べてもらい、体に栄養・群馬の花を観て触れ合うことで消費者への心の栄養、そして、みんなの未来に願いをこめ、栄養看板を制作しました。



群馬県:JA佐波伊勢崎青年部



地元、東地区より見える赤城山を背景に青年部員の作られている野菜のアピール。

群馬県：JA太田市青壮年部



太田（藪塚）で作っている作物をモチーフにかかしを作成。インパクトある作品に仕上げました。



東京都:JA東京あおば青壮年組織協議会



都市部では地震等の災害時の避難場所に農地があります。都市の農地は食物生産だけでなく、災害時の避難場所であることを地域住民に知ってもらうためのPR看板にしました。

東京都：東京南農協青壮年部



都市農業にラブ注入
農地には、丹精込めて栽培した野菜が見える。住宅地と隣接する都市農業は顔の見える農業として安全で新鮮な農産物の供給元として心の絆でつながっている。

両指でつくったハートから見える

東京都:八王子市農協青壮年部



都市農業は開発や農家の高齢化により減少傾向となっている、部員は積極的に農業振興に取り組み、自然環境や景観、緑と水を守り、新鮮で安全な農産物を私達の畑から食卓に届ける。

長野県:あづみ農業協同組合青壮年部小倉支部



安曇野の財産である『水』『農』、そして『緑』を次世代へと繋げていくためにも、盟友と地域住民が一丸となって、農業と共に守り続けていかなければならないとの決意から制作しました。



長野県：上伊那農業協同組合青壮年部^{てら}手良支部



閉塞した今の日本に活力を入れるべく作成しました。看板のメッセージから見る人に何か伝われば幸いです。左から見ると、「のうぎょう再生」、右からみると「TPP やじしんにまけない」と見えます。



長野県：中野市農業協同組合青年部



TPP問題や震災の風評被害に負けず、国産の安心安全な農産物を自信を持って消費者の元へ届け、わが国の食と農を守ろうという思いをこめて作りました。

新潟県：JAささかみ青壮年部



田んぼにはモノや金ではない「宝」があることを生きもの・稲を大きく描いて表現。いつか田んぼに戻ってきてほしい生きものも描き、次世代につなげる想いを込めて描いた。



新潟県：JA越後ながおか青年部 深沢支部



ごはんを食べることが、あたりまえ！食べられるありがたさやおいしさ！大好きだからこそ毎日だって食べたい。

「大好きなごはん！みんなもご飯大好きになあれ！！」



新潟県:JA北越後青壮年部 紫雲寺支部



地域で生産された農畜産物を地域で消費する地産地消をアピールするとともに、数々の大きな災害に日本が屈しないようエールを送るものです。



富山県:JAみな穂青壮年部



「日本のゲンキ」は、東日本大震災を受け、被害者の方々への「お米を食べて元気を出して立ち上がって欲しい」というメッセージであり、おにぎりの絵はその象徴である。

富山県:JA福光青年部 広瀬支部



これは、親子3世代が一緒に稲刈りをする光景で、昔はどの家族でも見受けられた光景です。3世代先まで農業を受け継いでいこうという思いで製作しました。

石川県:JA金沢市青壮年部



トウモロコシとスイカを食べるおばあちゃんと孫、おばあちゃんの頭には、農産物の生産者の顔が思い描かれている。消費者側から見た生産農家への信頼・絆を表現した。



石川県:松任市農協青年部 中央支部



食料自給率のアップをテーマに、松任の農作物のメインの米、トマト、ネギをキャラクターにして松任の食料自給率アップを呼びかけるため

石川県:白山農協青壮年部 林支部



近年問題となっている地球温暖化及び安全への配慮が必要となってきた食への不安。この2点への問題提起としてグリーンカーテンを作成した。



福井県：JA花咲ふくい青壮年部坂井地区



収穫の喜びを表現した。
また、稲作を愛し、これからも農業を守っていくという思い。



福井県:JA若狭小浜青壮年部



TPP問題に負けない農業を地元の若者で築きあげよう。

福井県:JA福井市青壮年部南部ブロック



孫（次世代の担い手）に対し中山間農地をこれからも大事に残していきたい。
また、孫の代になっても、農地を存続して行って欲しいという願い。

岐阜県：飛騨農協青年部(高原地区)



飛騨の農産物から安全安心を発信し、日本全体を盛り上げていきたいという思いから作品を作りました。

岐阜県：飛騨農協青年部（高山地区江名子支部）



地震、津波、水害など自然の猛威に立ち向かい、農業によって日本を元気付けたいという想いを表現しました。

静岡県：するが路農協青壮年部



遊休農地は有害鳥獣の発生や景観の悪化、食料自給率低下等、身近な問題です。農業者と地域が協力し、遊休農地を再生して、大切な財産である美しい里山や田園を守りたい。

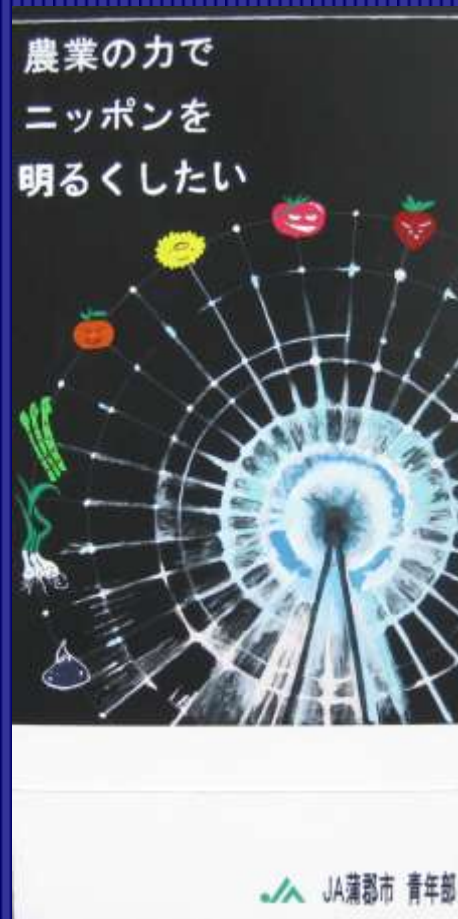
静岡県：遠州中央農協青年部委員会



ペットボトルのキャップを使用したエコ看板です。JA静岡青壮年連盟キャラクター「サイちゃん」と「絆」をドットで表現しました。「がんばれ、東日本」



愛知県：蒲都市農業協同組合青年部



地域住民へJA蒲都市青年部員の栽培している作物をPRする目的で作成した。

愛知県:JA西三河青年部



当地域には美しい田園風景が広がっているが、これは昔からの農家の努力の賜物である。この「農家の努力」、「農業の大切さ」を地域の住民に理解して頂くために作成した。

滋賀県:JAグリーン近江青年部



国産農産物自給率向上のため、地域自給率向上の必要性和地域農業の重要性を、若い担い手の親しみある愛らしい手作り看板で広く地元地域の消費者、住民に理解してもらう。

京都府：京都丹の国農業協同組合青壮年部



『ぼく百姓になる！！』子供たちに農村で担っていく人に育ってほしいという
思いを込め、自然の中でいきいき育つ様子を描きました。
自然の中での教育力はすばらしい。農村はいいよ！

京都府：京都やましる農業協同組合青壮年部



「やましるのちから、あなたの食卓へ」やましるの『地から』、やましるの『力』を地域住民の食卓へ届けたいという思いと、どんな困難も一休さんのようにとんちを利かして乗り越えていきたいという思いで作成しました。

奈良県:JAならけん青壮年部 郡山・生駒支部



地元で栽培されたいろいろな農産物が食卓に並び、そのどれもが大変美味しく、私たちの健康の源となっています。（農業体験をした小学生と製作）

奈良県:JAならけん青壮年部 天理・山辺支部



地元の安全・安心な農産物を食べてもらいたいという思いを込めて、地元の特産物である柿・茶・イチゴ等を大口を開けて食べている子供を描いた。



奈良県:JAならけん青壮年部 北葛支部



農業体験を実施した小学生との共同制作で、奈良県のイメージの大仏と鹿を背景に米作り体験とエコ活動を生かして文字は粳殻をおにぎりはシュレッダー層を使って描いた。

鳥取県:JA鳥取いなば福部青壮年部



「砂丘の大地で育む絆」我々は鳥取砂丘の麓、砂地に根ざし農を営んでる。看板は梨の木の間伐材を使い繰返し使用でき砂像は水と砂で作る環境に優しい作品です。砂は役目を終えると大地に帰って行きます。



鳥取県:JA鳥取西部青壮年部 中山支部



日本の原風景」

“日本のあるべき原風景”・・・これがいい。



鳥取県:JA鳥取中央青壮年部 東伯支部



「ふるさとは あなたのかえりを まっている」
TPP締結により、ふるさとである農村が消えていってしまうのを防ごうと
いう思いを表しています。

島根県:JAくにびき青年連盟



TPPに対する理解とPRを兼ね、3コマのマンガ風に仕上げました。「TPP反対は、農業青年の声」であり、「TPPは不平等条約」であることを主眼に入れました。人物も盟友の似顔絵とし親しみやすさを持たせました。



島根県：JA島根おおち青年連盟



当組織では、遊休農地を活用し、管内の保育園児を対象にさつまいもの定植・収穫体験を行っています。写真は盟友が管理作業をした際に撮影したもので、個々では得られない達成感や感動を多くの盟友で共感できる組織づくりを目指しています。

島根県:JA斐川町青年連盟



町内小学生に夏休みの課題として農業ポスターコンクールを開催し、その中の一番優秀な賞で看板を作成しました。グリーンセンターの入り口に設置し、大人から子どもまで幅広く米消費の拡大と地産地消・食育を訴えています。



山口県:JA下関 青年部 菊川支部



日本の主食である、米をより多く食べ、元気な地域を作っていこうという趣旨。



山口県:JA下関青年部 豊北支部



問題となっているTPPに対して反対という意思表示と耕作放棄になっている土地を利用して農産物を安心・安全のもと提供していこうという事をテーマに作成しました。

山口県:長門大津農協青壮年部



今年は東日本大震災があり、農業を通じ手と手を取りあって復興して行こうと言うことで、手形にて「絆」を描きました。

香川県：香川県農業協同組合青壮年部（高松南部支部）



「うどん県」という名でPRしている中、香川で育成した水稻「おいでまい」と小麦「さぬきの夢2009」をおいしく食べて、安心・安全な農産物を表現しています。

香川県：香川県農業協同組合青壮年部（大内支部）



TPPをはじめ、農業を取り巻く厳しい環境の中で、家族、その先にいる消費者が笑顔で「安心」して食べられる「安全」なものを作ることへの意欲を表現しています。



福岡県:JA糸島青年部 深江・福吉支部



私たちは、現在T P P参加問題など、日本農業が危機的状況の中、消費者に（毎日の食の選択をもう一度見つめ直して欲しい）との願いを込めて制作しました。

福岡県：福岡市農協青年部元岡支部



地元でとれた新鮮で安全な農作物を食べる事で、子供たちと明るい未来を育もう！というメッセージを色鮮やかなイラストと『地育地食』という言葉にこめました。



福岡県:福岡市農協青年部協議会今宿支部



田んぼアートデザインは、東日本を元気付ける「明るい 未来へ ファイト日本」に決定し、日本全体が元気になるように願いを込めました。

佐賀県:JAさが佐賀市支部青年部 嘉瀬製年部



日本・東北の皆さんへ農業から元気になってもらおうとイメージした看板と、田舎の農業をコンセプトに、案山子も作成。地域の圃場に設置し、鳥獣被害軽減も担ってくれます。

佐賀県：JAさが佐城青年部 多久中央支部



佐賀県産の主な農畜産物を時事的なキャラクターに見立て、世界一になった、なでしこジャパンのように、今こそ日本人が協力してがんばろうということを見る人に訴えかけた。

佐賀県：神埼郡農協青壮年部



日本を野菜に置換え、農業から見た今の日本を「みんなのハートで支え合う」
ことで、日本の早期復興・みんなの元気を取り戻す。
頑張ろう日本！頑張ろう農業！頑張ろう青年部



長崎県：長崎県央農業協同組合青年部



子供達が田植えから始めて稲刈りを終え、初めて食べられるようになった自分のお米をかみしめながら家族や友達に食べ物作りの大変さ、ありがたさを伝えてもらい、やがては地域全体に伝わるようお願い描きました。



長崎県：島原雲仙農業協同組合青年部



私達青年部が、栽培している野菜や果実をキャラクターにして、地域住民に分かり易く伝え、自分達の地域で色々な野菜や果実が栽培されているという事を知ってもらい、さらに自分達の地域のものが、日本全国へ出荷されているという事を知ってほしい。



熊本県：球磨地域農業協同組合 青壮年部錦支部



作品名：「がんばろう 日本の農業！」

東日本大震災を始め今日様々な自然災害がおきており、今こそ農業を支えるみんなで“力”を合わせてこの苦難を乗り越えていこうという想いを込めて作成しました。



作品名：「食からeco」新幹線開通に伴い「くまもとサプライズキャラクター『くまモン』」くまもとのPRと地産地消をすることによって、輸送コストやCO2削減につながり、環境にやさしい農業を目指し元気な熊本をアピールするた『くまモン』を使用し看板を作成

熊本県：JA鹿本青年部 田底支部



作品名：「こんな時代だからこそ」
子供達は、『未来の宝＝農産物』である。私達は、子供達の未来の為に、
安心・安全な農産物（宝）を育てます。

宮崎県:JA綾町青年部



この看板は、綾小学校5年生全員が、お米（食育）に対する作る喜び・学ぶ楽しさ・食べる感謝の意味を込めて一生懸命に作った温かい作品の看板です。



宮崎県:JA西都三納地区青年部



日本の食は安い輸入品があふれています。安ければ良いのですか？私たちの作る自信作を食卓に並べて「農畜産物の命と安心を」を食べて下さい。農を脅かすTPP交渉反対です。



宮崎県:JA尾鈴青年部



立体感のある刺繍で仕上げてみました。

鹿児島県：JA種子屋久青壮年くまげ地区支部



TPP参加反対へのメッセージを込めて、貿易が自由化されると牛や豚、サトウキビ、甘しょ、米など地域の農産物に大打撃を与えること訴える看板を作成しました。



鹿児島県：JA南さつま青年部川辺支部・枕崎支部



これからの農業の担い手として、農業・日本に対する愛情をロールラップサイレージを用いて表現しました。